



家に飾っている愛犬の油絵を見せてもらいました

見やすく、
わかりやすいものを

みつはし あやめ
三橋 彩瞳さん

第9回道新チラシ大賞で準大賞に輝いたチラシを手掛け、お客さんに「わかりやすく」「見て楽しい」イラストを描いている、ヤマザキショップ当別三橋商店の三橋彩瞳さんにお話を伺いました。

祖母の勧めで

町内に住む祖母の家の近くに絵画塾があって、祖母の勧めからその塾に通うようになったのですが、もともとそれほど絵が得意であったわけでもなく、好きでもなかったんです。通い始めのころは、円や三角などの図形を描くことから始まり、徐々にグラスなどの物のデッサンや絵具を使った色付けを学び最終的に油絵を描けるまでになりました。

もらいたいと思うようになりました。



準大賞に選ばれたチラシ

りやすいね」などといった声をいただき、うれしかったことを覚えています。挿絵の野菜に顔や足があったり、「頭の体操」と銘打ったクイズなどちょっとした遊び心を加えたり、妹が書く、その時々メッセージなどもお客さんから好評をいただけている要因だと思っています。お客様のお子さんがぬり絵のようにこのチラシに色を塗ってくれたものを、お店まで持ってきてくれた時は本当にうれしかったです。

継続が自信に

高校生

の時には、通学に時間がかかり、なかなか時間をつくれないことから、絵を描くのをやめようと思った時期もありましたが、小学5年生から現在まで続けてきた事で自分の作品に自信を持つことができ、本当に良かったと思っています。描くものは主に動物を題材にしていて、1年前に愛犬を描いたものを家の玄関に飾って、訪れた方に見ていただいています。今では自分の作品を多くの人に見て

親しみのあるものを

チラシ

はもともと、店長が作っていたんですが、店長の仕事が忙しく時間が取れなくなった時に、頼まれたのがチラシを手掛けたきっかけですね。店長が作っていたチラシは文字だけのものだったので、わかりやすいものを作ろうと思い商品の絵を入れてみました。白黒印刷のチラシなので色は使わず、筆ペンの墨の濃淡で表現していますが、始めてから約5年がたちますが、チラシを見たお客様から「見やすくていいね」「商品がわか

コンテスト出展の夢へ

お客様

に喜んでいただけるような見やすく・わかりやすいチラシをこれからも作成しながら、自分の時間がつくれるようになったら、油絵の作品も手掛けてコンテストに出展してみたいと思っています。

彩瞳さんの作品は、店内の広告のほか、商品のサンプルに至るまでさまざまなものが、お店の中で見ることができます。

(5月16日取材)